

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 9月 4日更新

事務事業名	総合型地域スポーツクラブ運営支援事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	3 教育の健康			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	北里 利朗
	施策	11 生涯スポーツの推進			所属課	生涯学習課	担当者名	毛利 一生
	施策の柱	40 スポーツの啓発と参加機会の提供			所属班	スポーツ振興班	(内線)	1519
予算科目	会計一般	款 10	項 6	目 1	事業連番 10825	根拠法令	スポーツ基本法 合志市社会教育関係団体活動事業補助金交付要綱	成果優先度評価結果 : ③ コスト削減優先度評価結果 : ①
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	「総合型地域スポーツクラブ」は、平成12年に県スポーツ振興基本計画で立ち上げが推進され、平成20年までに少なくとも市町村に1つ作ることが目標に掲げられた。これを受け、旧西合志町では、平成15年4月に自主運営と地域における公益を目的とした地域に開かれた総合型地域スポーツクラブとして「クラブにしごうし」が設立された。旧2町の合志市への合併を経て、クラブ設立から10年も経過していたため、平成27年度には名称を「クラブこうし」に改称した。また、平成27年度には、会員数778名を数えたクラブであったが、平成28年度は熊本地震の影響もあり、年度末時点で606名に留まり、活動場所となる施設都合により、活動を縮小することとなった。 平成19年3月31日に合志市2つ目の総合型地域スポーツクラブ「ヴィーブルFUNクラブ」が設立した。平成27年度会員数は665名だが、平成28年度は、熊本地震の影響もあり、活動拠点のヴィーブルと泉ヶ丘体育館が使用できず活動が殆ど行えていなかった。活動が大幅に縮小したが、ケアトランポリンの導入や別の施設での活動等を行った。
【業務の流れ】	総合型地域スポーツクラブへの補助金申請受付、交付業務、事務局としての受付・会議等での業務補助、施設の確保。
【主な予算費目】	使用料及び賃借料・補助金
【意見や要望】	<ul style="list-style-type: none"> ・「クラブこうし」に入れば、幾つもの種目が体験でき、異世代間の交流ができるとの意見もある。 ・自分のペースでスポーツができる。 ・クラブこうしは自主財源の確保が難しく補助金に頼っている状態のため、自立を促している。 ・「ヴィーブルFUNクラブ」は、活動拠点であるヴィーブルの早期再開が強く望まれている。 ・「ヴィーブルFUNクラブ」は、参加申込も多く、入会待ちをされている方もいらっしゃる。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)	29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
総合型地域スポーツクラブの補助金申請、交付業務、事務補助・年間を通して活動の場(市の体育施設)を半額軽減で提供。	総合型地域スポーツクラブへの補助金申請受付、交付業務 ※クラブこうしのみ。 事務補助・年間を通して活動の場(市の体育施設等)を半額軽減で提供する。ユーパレス弁天の利用料の補助を行なう。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 補助金額	円
イ: 施設使用料減免額	円
→	クラブこうしのスポーツ振興くじ助成金およびヴィーブルFUNクラブの補助金の終了による減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
総合型地域スポーツクラブ	(単位) 団体
→	ア: クラブ数
→	イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
総合型地域スポーツクラブ事業計画に則り、事故なく活動ができる。	(単位) %
→	ア: 事業計画に則り、事故なく活動ができた事業の割合
→	イ:
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠	
総合型地域スポーツクラブが問題なく運営されているが示すために設定した。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	26年度	27年度	28年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
① 活動指標	ア	円	4,051,000	4,246,000	4,097,000	3,810,000	763,000	763,000	763,000	
	イ	円	520,000	520,000	520,000	326,000	520,000	550,000	550,000	
② 対象指標	ア	団体	2	2	2	2	2	2	2	
	イ									
③ 成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	3,054		3,249	4,044			
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	1,714	4,660	1,487	375	1,253	763	763
		(A) 事業費計	千円	4,768	4,660	4,736	4,419	1,253	763	763
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	4	4	3	5	5	5	5
(B) 人件費計	延べ業務時間	時間	200	158	500	638	550	550	550	
	(B) 人件費計	千円	0	586	1,992	0	2,191	2,191	2,191	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	4,768	5,246	6,728	4,419	3,444	2,954	2,954	

事務事業名	総合型地域スポーツクラブ運営支援事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	--------------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 熊本地震での被災がある中、一定の活動を維持できた。
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 活動拠点の調整や新規教室の立上を含む事業計画の立案により、事故なく事業を行う予定である。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 熊本地震からの復興により、施設の再開が進めば、活動が活性化が見込める。また、クラブ会員数が増えクラブが活性化すれば、クラブの会計が潤い、補助金の減額につながる。同じく、クラブ内での教室数が増加すれば、スポーツ振興や市民の健康維持、交流が見込まれる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 本事業には、「クラブこうし」と「ヴィーブルFUNクラブ」の2つのスポーツクラブがあり、「ヴィーブルFUNクラブ」はトランポリンのみの競技で行なわれているということと、会費等の問題もあり、現在は統合できない。また、類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 クラブ会員数の増加を図るための協議を行っており、会員が増加や自立した自主運営等の財政基盤の整備が進めば、補助金が削減できる。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事務局員は、総合型地域スポーツクラブの嘱託職員に加えて、市の担当課職員である。クラブの事務については、できるだけクラブの事務局員に任せるようにしており、市の職員はクラブの組織確立に向けた育成および連携に努めている。将来はクラブが完全自主運営できる体制を目指しているため、削減余地がある。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 多くの種目・教室数がある「クラブこうし」は、パンフレットを全戸配布するなどにより、受益機会を公平に与えている。予算の見直しや会費の値上げ等については協議を行っている。会費の値上げについては、事業内容等を精査しながら慎重に行うべきである。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 現時点での移行は難しいが、将来的には自主運営に移行できるよう団体の育成を図る。

3 評価結果の総括 (CHECK)

「クラブこうし」「ヴィーブルFUNクラブ」共に、熊本地震までは着実に会員を増やし発展していたが、現在は熊本地震の影響もあり、活動が縮小している。活動拠点の再開を含め、活動の建て直しが必要である。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>年度末には、熊本地震で被災した体育施設の復旧工事が完了見込である。それまでは、事務局と会員双方の協力により、利用施設や時間の調整等により運営方法を改善し、熊本地震後の影響から脱することを見込んでいる。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <p>課題としては、熊本地震前から定期的に利用されている日時や場所を変更した場合に、参加が難しくなるクラブ会員もおり、調整が難航することがある。施設の復興を急ぐとともに、事務局の利用調整をサポートすることで改善を図っていく。</p>																								